最新鋭の水槽付消防ポンプ自動車運用開始

３月８日、留萌消防組合消防署小平支署の水槽付き消防ポンプ自動車が更新されました。

今回更新されたこの車両には、留萌管内初導入となる「ＣＡＦＳ」（キャフス）と呼ばれる消火泡放出システムを搭載しています。この装置は、水と泡を混合し、コンプレッサーで空気を送り込み、泡を作りだして放出する装置です。

この泡により、消火活動に使用する水量が約20分の１になることから、建物等への水損防止や、長時間の消火活動にも効果が得られるとともに、壁面や燃焼物を覆うことで、延焼・再燃防止も期待できます。

また、電動式ハシゴ昇降装置や、ＬＥＤ照明器具等、最新の資機材を搭載することにより、火災や災害時における消防隊の活動性・安全性が向上し、今後の消防活動の向上に大きく期待されています。

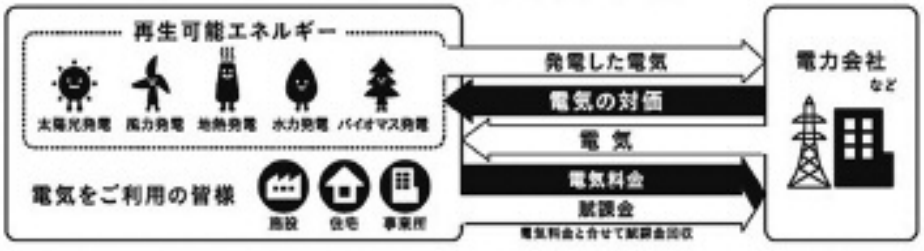
車　　種	日野 水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅱ型)
車体形状	８ｔシャーシ・ダブルキャブ
エンジン	ディーゼルエンジン243KW(330PS)
排 気 量	8.86Ｌ
駆動方式	後輪駆動方式(FR)　オートマチック(5AT)
乗車人数	6人乗（前２人／後４人）
積載水量	3,000リットル
購入金額	5,607万円

みんなで育てる再生可能エネルギー

太陽光・風力・水力・地熱・バイオマス等の自然の恵みを活かしたエネルギーを、「再生可能エネルギー」と呼びます。国の法令に基づき、「再生可能エネルギー」で発電した電気を電力会社が一定期間、一定価格で買い取り、その費用を電気の使用量に応じて電気をご利用の皆様にご負担いただく制度が「固定価格買取制度」です。

この制度により再生可能エネルギーの普及を進めることは、資源の少ない日本にとって、とても大切なことなので本制度へのご理解をどうかお願い申し上げます。

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」のしくみ



経済産業省
資源エネルギー庁より